

# 八幡を彩る桜のトンネル

4月1日～10日の10日間、市観光協会の主催で「八幡桜まつり」が淀川河川公園背割堤地区で開催されました。期間中には約21万人が訪れ、約250本のソメイヨシノが作る全長1.4kmにおよぶ桜のトンネルに目を奪われていました。

昭和53年に松から桜に植え替えられた背割堤は、今では多くの人が訪れる桜の名所となっています。今年のお花見を特集したウェブサイトで、4月初旬時点の関西人気お花見スポットランキング第1位になるほどです。

期間中、公園広場では、ジャグリングの全国大会で優勝の経歴を持つリスボン上田さんによるジャグリングショーも開催。技が決まるたび

## 淀川河川公園背割堤地区

また、来場者がガイドから背割堤の桜や周辺の観光スポットなどの説明を受けながら桜のトンネルを歩く「桜のお話ツアー」やお花見船の運航も行われ、来場者は目に映るどこまでも続く桜のトンネルを満喫していました。



① たくさんの人でにぎわう背割堤  
② お花見船から手を振る来場者  
③ ジャグリングショーで拍手を送る来場者



## 華やか つばき展

椿に見入る来場者(4月5日)

4月4日～6日の3日間、「第26回松花堂つばき展」が松花堂庭園で開催されました。800本を超える椿が庭園中を彩り、来場者は色鮮やかな椿に見入っていました。

同展は、周りの景色とともに椿をいろいろな形で楽しんでもらおうと、松花堂庭園・美術館などの主催で毎年開催されています。

庭園では、趣向を凝らした真竹などの花器に椿を飾り、赤やピンクの椿の色をより一層引き立たせていました。

## 花器に趣向 松花堂庭園

屋内の展示会場では、椿の輪挿しやフラワーアレンジメント、椿を描いた金屏風などを展示。また、茶室では椿を模した茶菓子と茶碗で椿づくしのお茶会を催し、来場者をおもてなし。さまざまな角度から椿の魅力を伝えていました。

木津川市から家族3人で同展に訪れた香川貴志さん(53)は「椿がこんなに華やかになるのかと、自分の想像を超えて素晴らしかったです」と、椿の魅力に引き込まれていました。

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

## 給食大好き いただきます!



おいしい給食に笑顔の1年生有都小学校

4月16日、市内の各小学校で1年生の給食が始まりました。子どもたちは席を動かして班を作り、みんなで仲良く給食をいただきました。

献立は、カレーライス、コーンのサラダ、イチゴ、牛乳です。

給食当番の子どもたちは、真っ白なエプロンを身

に着け、給食室までおかずの入った食缶や食器などを取りに行きます。それを教室に運んだら、自分たちでご飯やおかずをよそい、お盆に乗せ、テキパキとみんなの席に運びました。

行き渡ったのを確認したら、みんなで手を合わせて「いただきます」。

おいしい給食にみんなは口いっぱいほお張ります。食べ終わってしまうと、「おかわりください」と先生にお願い。食缶が空っぽになるまでモリモリ食べ、初めての給食に大満足でした。



ご飯やおかずをよそう子どもたち

## ナシの花に願い込めて

ナシの木々が真っ白な花で埋め尽くされた4月7日～15日までの9日間、ナシの人工授粉作業が八幡梨狩園で行われました。

同園(約20畝)は、八幡で唯一の観光梨園で、「幸水」「豊水」「長十郎」などの5品種を栽培しています。

今年は天候にも恵まれ、例年よりも早く花がつかまりました。人工授粉に使用する花粉は、「今村」という品種のナシの花から事前に採取し、一晩寝

## 八幡梨狩園で人工授粉

かします。それを授粉棒でやさしくめしべに付けて、交配させていきます。

同園を経営する中村政之さんは「ナシの生育は天候と水分によるので、適度に雨も降りながら、丸々と太ったナシに育ってほしい」と、ナシの順調な成長を願っていました。

同園は8月17日にオープンし、9月の中旬ごろまでナシ狩りを楽しめる予定です。



佳境を迎えたナシの人工授粉作業(4月15日)